

第7回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（第2期）（会議要録）

◆協議会の名称 平成28年度 第7回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（第2期）

◆開催日時 平成29年1月19日（木）19時00分～20時35分

◆開催場所 嘉麻市役所碓井庁舎 会議室1

◆公開又は非公開の別 公開

◆非公開の理由 （会議を非公開とした場合のみ）

◆出席者

（委員）

井原 徹会長 坂田 勲副会長 村上曙生委員 大山征男委員 田中穆委員
芹野彌生委員 松岡光昭委員 野見山利三委員 有吉直子委員 野上真吾委員
藤井幹裕委員 廣瀬公彦委員

※欠席委員 0人

（事務局）

総務財政及び市民環境担当総合調整監 秋吉俊輔
庁舎・交通体系対策室 小林純一、橋垣康秀、柴田英樹、山口宏彰、塚本明弘
堤亮介、犬丸亮子

◆傍聴人数 0人

◆議題及び協議の内容

1 会長あいさつ

（会長）新年、明けましておめでとうございます。会議を開催させて頂きたいと思います。

2 報告

（1）資料20 新庁舎建設に伴う各課ヒアリングについて

（2）資料21 藤井委員からの意見等について

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

・特になし

3 議事

（1）第6回審議会の会議録等の承認について

※会議録：答申までは情報開示しない。答申後は開示対象資料とする。

※会議要録：審議会での承認後、公開とする。

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

- ・会議録、会議要録については修正意見を反映し了承されました。

(2) **資料2.2** 新庁舎建築設計（案）に関する審議資料

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

1 ページから 3 ページについて、10 分程度、資料の確認をしてもらいました。

- ・（委員）議会フロアの活用は設計業者の説明で可動式と出てるが反映されるのか。
- ⇒（事務局）反映することで決定している。
- ・（委員）1階に市長室という要望については、セキュリティの管理上難しいと書いているが具体的に教えて欲しい。
- ⇒（事務局）セキュリティ管理上の内容だけを記載し、説明が不足しているが、市長室を1階に配置すると、副市長室や人事秘書課、それに伴う職員組織全体を1階に配置しなければならず、また、近年は防災に関する意識が高まり、指揮系統を市長室近くの会議室等に配置するという考えが必要となっている。これらの内容を1階へ配置するとなると、一番市民と身近な課である市民課や税務課等の窓口が上層階に配置されることになる。市民の利便性を考慮することを優先した場合、第1次窓口機能を1階に置くというプランを採用すべきであるとの結論に至ったところである。- ・（委員）1階に市長室を設置して欲しいと要望したいが、審議会の意見としてお諮りした結果4階でということであればそれはそれでいい。
- ・（委員）1階を市民の場、市民優先の場と考えれば市長室は上層階の4階が適当と思う。

⇒（会長）1階は市民窓口で了解ということで。

 - ・（委員）新庁舎裏の河川につり橋を架けるといいう意見について、将来的にそのような方向での整備を検討してもらおうよう審議会の意見として提示してはどうか。

⇒（会長）この建物をよりよく皆さんに使って頂く為に本当はもっと大きな計画の中に入れておくべき。

 - ・（委員）40億円かけて庁舎を建て、その後のランニングコスト等も踏まえた中で、庁舎建設のコストに見合うだけの市民に還元されるような効果、施策はあるのか。

⇒（会長）1階を市民に開放することでの施設利用による還元や桂川の図書館のようなイルミネーションを施すなどして、嘉麻市のシンボルになれば、地域に還元出来るのではないかな。- ・（委員）ワークショップでは意見がなかったのか。

⇒（事務局）ワークショップ自体が今から10年後のまちづくり計画で具体的に庁舎建設後の意見が多かったと思う。庁舎建設による効果としては、第1期の審議会において説明したが、人口減少社会が始まり職員が減少する中で効率的、また持続的に行政運営していくことが課題であり、その中で庁舎統合、職員削減等による行政改革の一定の効果が出てくるので、そういうものを住民サービスの中に転換していきたいと考えている。- ・（委員）将来、稲築庁舎跡地や公民館と新庁舎を連携したような形で開発というのを考え

てもらえれば、将来的に庁舎が核となって、市民利用の良い形ができると思う。

・(委員) 嘉麻市産の自然材料は設計に反映されているのか。

⇒(会長) 設計条件として積極的に取り入れることを答申する。

・(委員) 職員の食事スペースは反映されているか。屋上は太陽光発電設備等で狭いかもしいれないが。

⇒(会長) 太陽光はどこでも置けるので設計業者に対応させる。

・(委員) 1階ロビーに嘉麻市の全体像がわかるような模型やデジタルグラフィックなどの仕掛けが欲しい。

・(委員) 建設費用の40億円は死守して欲しいというのが委員の意見だが、熊本地震で人件費、材料費が1.5に倍上がっているという話のなかで、それらを含めて40億円と認識するのははっきりしておいた方がいいと思う。

・(委員) 審議会としては40億円以内で必ず建設するという形を答申すればいい。市長は審議会の意見を最大限尊重すると言われているので、審議会がいろいろな条件を勘案して事業費が膨れることを容認するような形は、初めからの審議の中身が薄れてくるから、40億円以内で建てると答申するようお願いしたい。

・(委員) 新庁舎建設のメリットとして、一カ所に集約し人件費を合理化する。議員、職員削減もしっかり求めることを再確認したい。また、市庁舎だけ高くしたら、周辺の道路や家は豪雨の時に水に浸かるという大変な問題を含んでいる。

・(委員) 新庁舎の障がい者用駐車場は行政として監視し、設置目的を達成できるよう対応して欲しい。

⇒(会長) その駐車場エリアは、障がい者だけでなく、子ども連れや体の弱い方も含んでいるものであり、実際はマナーの問題ではある。新庁舎は駐車場が広いのでエリア分けをしっかりと行い計画したらいいのではないか。

・(委員) 免震構造の定期検査、監視はどうなってるのか。管理体制をきちんとしてもらいたい。またⅠ類とⅡ類はそんなに変わらないので、もう一度検討をして欲しいという意見を出してもいいのではないか。

⇒(事務局) 建築基準法に基づく管理義務があり、定期点検は管理業者を設定し1年、5年、10年、あとは10年間隔で実施していく必要がある。また災害時に庁舎は防災機能を果たす必要があり、指令拠点としての機能を確保するためにはⅠ類を採用することになる。

・(委員) 職員が食事をするスペースをつくる発想ないのか。職員間の交流には重要な場になる。

⇒(事務局) 職員の福利厚生上、是非とも欲しいというのが基本的な考え方としてはあるが、建物面積を増やせば余分な税金がかかるというのが職員共通の認識であり、食堂を設けて欲しいという要望は今のところ聞き及んでない。建設費の抑制を図るためには、職員も耐え忍んでいくしかないと思っている。

・(会長) 駐車場2台分ぐらいを確保して、簡単な鉄骨建てのカフェなどを設置して、福祉関係の方などに運営してもらったら、市民サービスにもなるし、市民の活躍の場にもな

り、お互いにメリットになるのではないか。

- ・(委員) 休憩時間は無駄な時間ではなく、食事中に市民の目があると体に悪いし、また、職員同士のコミュニケーションが取れるので目に見えない付加価値がたくさんある。建築費の問題もあるが、市民のためと思えば悪くはないと思うが。
 - ・(委員) 財政的に裕福であるならつくってもいいと思うが、市民感情から言ってあえて食堂をつくることには反対である。
- ⇒(会長) 職員だけではなく、市民も利用できて、食事ができ、リラックス出来る空間をつくって欲しいという提案を出す。

4 その他

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。
- 《主な質疑及び意見等》
- ・(会長) 今回の審議会は、いろいろな設計の条件を設計業者に渡すというのが今回の答申であるが、渡したままでその後がわからない。最後まで監視・確認という意味で、図面が出来上がるのと最終決定の2回ぐらいは説明を受けてはどうかと思う。
 - ・(委員) 団体推薦で、現在の役職を辞めると出席できないなどの問題がある。
- ⇒(事務局) 各団体のからの具体的な選出に関する対応等があると思うので、次回、確認を含めて説明したい。
- ・(委員) 29年度から地域整備の方で協議予定があるのではないか。
- ⇒(事務局) 4地区について協議会設置に関する条例案の提出及び予算協議を行っている段階で、3月議会において議決を頂いた後に確定となるが、地域整備協議会の設置を予定している。

5 次回の開催日程

日時 平成29年2月17日(金) 午後7時から
場所 碓井庁舎2階 会議室1

【20時35分閉会】